平成12年〈2000〉3月号 No.739

今月のこよみ

春の全国火災予防運動	1日～7日
全国山火事予防運動	1日～7日
耳の日	3日

県民の友

主な記事

2面　4月から介護保険制度がスタートします
3面　拝啓　県民のみなさまへ
　　急増する和歌山県の犯罪
4～5面　県農林水産総合技術センター
　　This is 和歌山ブランド
6～7面　お知らせ／同和連載
8面　わかやま北南ニュース／子育てフェスタ

発行　和歌山県知事公室　広報広聴課　〒640-8585 和歌山市小松原通1-1 ☎073（432）4111

美里町立下神野小学校の授業風景

コンピュータを授業に活用

画面を見つめる子どもたちの真剣なまなざし。コンピュータで自分たちの卒業文集を作っているところです。皆で意見を出し合いながら、写真を取り込み、文章を編集しています。

県内の小学校でのコンピュータ設置率は94%、中学・高校では100%に達しています。先進校ではインターネットを通じて国内外と結び、資料収集や情報発信、また他校や海外姉妹校等とのテレビ会議が盛んに行われています。海草郡美里町の小・中学校では、みさと天文台を中継基地に教室で宇宙の映像を映し出すなど、地域の特色を生かしながら各教科にあわせ、コンピュータを使った様々な学習が行われています。また、子どもたちだけでなく、地域の人たちを対象にしたパソコン講座も大人気。21世紀を拓くエネルギーを感じます。

県では、平成12年度中に全県立学校でインターネットに接続できる環境を整え、情報コミュニケーション教育の充実をめざします。小・中学校については市町村で順次、インターネットへの接続が進められています。

コンピュータを活用した教科の授業例（美里中学校）

国語科　インターネットから取り込んだイラストや、自分で撮った写真などを使った文集づくり

社会科　ホームページなどから地域の歴史を調べ情報発信

数学科　ホームページ上に公開された問題を入手し、授業に活用

理科　みさと天文台のホームページを利用し、オーストラリアから生中継された金環日食画像を見ながらその仕組みを理解

英語科　国内の外国語指導助手（ALT）や、外国に住む人と電子メールで交流。英文に親しんだり、メールの即時性を体験

音楽科　作曲ソフトを利用して、キーボードで弾いた音がそのまま楽譜になる過程を体験、作った曲はホームページで公開

美術科　描画・画像処理ソフトを利用して、絵の着色やインターネットで取り込んだ映像の画像処理に挑戦

保健体育科　器械運動の手本や生徒自身の演技をコンピュータに取り込み、動きをチェック

授業風景

くわしくは美里町ホームページに掲載しています。http://www.town.misato.wakayama.jp/schools.html

古紙配合率80%再生紙を使用しています。

みんなで支え合おう介護保険

4月から介護保険制度がスタートします

40歳以上の方が加入します

人は一生でみると、2人に1人は寝たきりや痴呆などにより、介護が必要になります。自分や配偶者、両親まで考えれば、介護は誰もが避けて通れない問題となっています。

しかし、介護を家族だけで支えるのには限界があります。そこで、国民みんなで支えることをねらいとして介護保険制度が生まれました。

40歳以上の方は、原則として全員が介護保険に加入します。

利用者負担は費用の1割です

介護サービスを利用する際には、サービス提供機関に費用の1割を支払っていただきます。

負担額が高額になった場合
世帯で1割の利用者負担が著しく高額になった場合には、上限額（所得に応じ37,200円～15,000円）を超えた分について、申請によりあとで市町村から支給されます。（高額介護サービス費）

所得の少ない方で、平成12年3月までに、ホームヘルプサービスを利用された人や、特別養護老人ホームに入所されている人は、5年間負担が軽減されます。

介護保険で受けられるサービス

「どんなサービスを受けるか」、「どこのサービス提供事業者で受けるか」については、介護支援専門員と相談しながら決めます。

在宅サービス

家庭を訪問してのサービス
- 訪問介護（ホームヘルプサービス）
- 訪問入浴介護
- 訪問看護
- 訪問リハビリテーション
- 居宅療養管理指導

福祉用具や住宅改修など
- 福祉用具の貸与・購入費の支給
- 住宅改修費の支給

施設を利用してのサービス
- 通所介護（デイサービス・日帰り介護）
- 通所リハビリテーション（デイケア）
- 短期入所生活介護（ショートステイ）
- 短期入所療養介護（ショートステイ）

その他
- 痴呆対応型共同生活介護（要介護者のみ）
- 特定施設入所者生活介護

※在宅サービスについては、要介護度に応じて利用できる1カ月当たりの上限額が決まり、その範囲内で自由にサービスを組み合わせて利用できます。

要支援	6.15万円
要介護1	16.58万円
要介護2	19.48万円
要介護3	26.75万円
要介護4	30.6万円
要介護5	35.83万円（上限額）

施設サービス（要介護者のみ）

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）［27.2万円］
常に介護が必要で、住宅での介護が困難な方が入所します。

介護老人保健施設（老人保健施設）［29.6万円］
病状が安定している方で家庭に戻れるように、リハビリや看護を中心とする医療を受けるが入所します。

介護療養型医療施設（療養型病床群等）［37.8万円］
病状が安定しており、医療の必要性が高いなどの理由で長期間にわたる療養が必要な方が入院します。

※［ ］は1カ月当たりの平均的サービス費

※施設サービスについては食事代の負担が必要です。

介護保険制度の被保険者

第1号被保険者

65歳以上の方

原因のいかんを問わずに、介護が必要と認められた場合にサービスを利用できます。

保険料
- 所得段階に応じて市町村ごとに設定
  1人当たり県の平均月額は約2,900円ですが市町村のサービス水準により金額が異なります。
  （平成11年7月試算）

平成12年4月～9月	徴収しません。
平成12年10月～平成13年9月	保険料の1/2を徴収します。
平成13年10月～	保険料の全額を徴収します。

保険料の支払い方法
- 年金額が月額15,000円以上の人は、年金から天引き
- それ以外の人は市町村に支払い

第2号被保険者

40歳から64歳までの方
（医療保険に加入している方）

初老期痴呆などを化にともなう病気が原因で介護が必要と認められた場合にサービスを利用できます。

保険料
- 加入している医療保険の算定方法に基づいて設定
  1人当たりの平均月額（事業主負担を除く）は、主に中小企業が加入の政府管掌健康保険では1,550円、健康保険組合では1,965円、国民健康保険では1,280円です。
  （それぞれ平成12年1月厚生省試算）

保険料の支払い方法
- 医療保険料と一括して支払い

要介護認定の申請 ↓ ↑ 要介護認定

市町村（保険者）

介護保険制度の運営は、皆さんが住んでいる市町村が行います。

介護サービスを利用するまでの手順

申請

介護が必要となったら本人や家族などが、まず、市町村窓口へ要介護認定の申請
（申請書は市町村窓口などに配置。）

調査

介護が必要な状態が調査

訪問調査

全国共通の調査票により コンピュータ判定

調査項目に関連した特記事項

主治医の意見書

審査判定

どのくらい介護が必要か審査

介護認定審査会

介護や日常生活に支援が必要な状態かどうか、どのくらいの介護を必要とするか（要介護度）が決められます。

認定

市町村が認定を行いその結果を通知

区分	状態
要支援	要介護状態には認められないが、社会的支援を要する状態。入浴などに一部介助が必要な状態。
要介護1	生活の一部について部分的介護を要する状態。排せつ、入浴、清潔、整容、衣服の着脱等に一部介助が必要な状態。
要介護2	中程度の介護を要する状態。排せつ、入浴、清潔、整容に、一部介助又は全介助が、衣服の着脱に見守り等が必要な状態。
要介護3	重度の介護を要する状態。排せつ、入浴についての全介助のほか、清潔、整容に一部介助又は全介助が、衣服の着脱に全介助が必要な状態。
要介護4	最重度の介護を要する状態。入浴、排せつ、衣服の着脱、清潔、整容の全般について全面的な介護が必要な状態。また、痴呆については、問題行動が一層増える状態。
要介護5	過酷な介護を要する状態。生活全般にわたって、全面的な介護が必要な状態。

「自立」と認定された場合は介護保険のサービスは受けられません。（但し、介護予防・生きがい活動支援事業で、介護関連のサービスを受けることができます。）

※認定の内容に不服がある場合は、60日以内に県の介護保険審査会に申し立てができます。

サービス計画の作成

利用者の希望や状態に応じたサービス計画を作成

★介護支援専門員に相談すると、自分の希望や心身の状態、家庭の状況にあった介護サービス計画を作成してもらうことができます。（無料）
※本人が作成することもできます。

★介護支援専門員（ケアマネージャー）
介護サービスを利用する人が自立した日常生活を営むために必要な援助に関する専門的な知識・技術を持ち、介護サービス計画の作成、市町村からの委託を受け訪問調査などを行います。

サービスの利用

介護保険制度の内容などは、県庁介護保険対策室 ☎073（441）2440へ

拝啓 県民のみなさまへ

春の訪れは三寒四温を繰り返した後に。寒い日も次の暖かさにつながると思うと、きりっと気持ちのよいものです。皆さんはどんなふうに春を感じておられますか。

先日、「かつらぎ町生活改善友の会」の方々のお話を伺う機会がありました。地域の特色を生かした食生活の推進や地域農産物の利用向上を生活改善の重点目標に掲げ、農産物加工の実習にも積極的に取り組まれているとのこと。私がご賞味にあずかったのは、かつらぎ町特産の柿を使った「柿クッキー」。一口ほおばると柿の風味が口の中に広がり、なかなかのでき映え。今後、地域の特産品に育てていきたいとの夢を語る皆さんをたのもしく思いました。

また、微笑ましく感じたのは、町内に開店した産品直売所が、家族の団結に一役買っているとのお話。おじいさん、おばあさんが栽培した野菜など手づくりの農産物を、若い人が一輪車に積んで運搬する連係プレーに支えられ、店は繁盛、畑作りの励みにもなり、地域の活性化ひいては高齢化対策にもつながっているとのこと。農業改良普及センターの指導でパソコンにも挑戦したり、若い人に興味を持ってもらえる農業をめざし、元気いっぱいの方々でした。

皆さんの元気が、大きな輪になって広がり、和歌山を輝かせるエネルギーの源となります。和歌山の明日が楽しみで心あたたまる一日でした。

和歌山県知事 西口勇

かつらぎ町生活改善友の会の皆さんと

第38回 県スポーツ賞受賞者決定

本県スポーツの水準の向上及び振興に貢献し、その功績著しい方や団体に贈られる和歌山県スポーツ賞の各賞受賞者が決定しました。

今回、193人の個人と58団体が受賞されました。

功労賞

故久保真裕さん

優秀指導者賞

柔道 角田良寛さん

相撲 梅本 登さん

ソフトテニス 花田一弥さん

卓球 宮崎義仁さん

体操 水口晴雄さん

急増する和歌山県の犯罪～平成11年犯罪白書～

刑法犯の概況

平成11年中の刑法犯の発生は
- ●人口当たりの犯罪発生率・・・・・・全国第7位
- ●1日当たりの犯罪発生数・・・・・・約60件
- ●約24分に1件の割合で発生

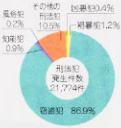
1．刑法犯発生件数は戦後最悪を記録

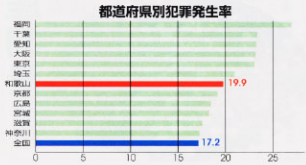
刑法犯（殺人事件や窃盗事件など）は、県下全体で21,774件。

2．人口当たりの犯罪発生件数は大都会に匹敵

犯罪発生率※は、福岡、千葉、愛知、大阪、東京、埼玉に次いで全国第7位。

※犯罪発生率
人口千人当たりの犯罪発生件数。





3．市町村別犯罪発生率は北高南低型

(県都和歌山市の治安悪化が深刻化)

犯罪発生率を市町村別で見ると、和歌山市を中心とした紀ノ川沿いの紀北地方が高く、逆に紀南地方では低くなっている。

特に、和歌山市の刑法犯発生件数は11,422件で県全体の約52%。

4．刑法犯の約87%が窃盗犯

(自転車・オートバイなどの乗物盗が大半)

刑法犯のうち、窃盗犯が全体の9割近い数字を占め、窃盗犯の大半が車上ねらいや自転車、オートバイなどの乗物盗の被害。

5．ひったくり、性犯罪などが急増

平成10年と比較して、ひったくりは約1.5倍、性犯罪は約2倍に急増。

女性や子ども、お年寄りなど、社会的弱者が最も被害にあいやすく、強盗や殺人など、大きな犯罪に発展する危険性が極めて高い。

少年非行の概況

平成11年中における少年非行の特徴的傾向
- ●刑法犯検挙者総数に占める少年の割合は約半数
- ●犯罪少年のうち中学生が占める割合が約35%
- ●覚せい剤・シンナー乱用少年が急増

1．刑法犯検挙少年が増加

平成11年中に検挙・補導した少年の総数は、16,145人（少年人口当りの検挙・補導率全国第8位）。

うち、刑法犯で検挙された少年は1,050人で平成10年と比較して24人の増加。刑法犯検挙者全体に占める割合が約半数の49.3%（全国平均44.9%）。

2．低年齢化傾向が一層強まる

刑法犯で検挙された少年のうち、14～16歳が75.8%。

3．覚せい剤・シンナー乱用少年が増加

覚せい剤、シンナー乱用で検挙・補導された少年が277人で、平成10年と比較して62人の増加。

性犯罪やひったくりから身を守るために

最近急増している性犯罪やひったくりなどの犯罪から、どうすれば身を守ることができるのか。

誰でも簡単に実行できる方法を紹介します

性犯罪から身を守る
痴漢は犯罪。勇気と大声を出して助けを求めましょう

気軽にドアを開けないようにしましょう

自転車の前カゴには防犯ネットをつけましょう

ひったくりの被害を予防するには、バッグやかばんは車道側に持たないようにしましょう

不安を感じたら気軽にご相談ください。
■警察総合相談窓口 ☎#9110
■県警察本部生活安全企画課 ☎073(423)0110（代表）

皆さんの安全を守るために警察は犯罪と闘っています…

～和歌山駅・あろち周辺環境浄化総合対策の推進～

県警察は治安悪化が深刻化している和歌山市、特に和歌山駅・あろち周辺の環境浄化のため、「安全で快適な和歌山駅あろちをつくる協議会」を設置し、官民一体となって諸対策を推進しています。

21世紀に輝く技術開発をめざして

県農林水産総合技術センター

「環境と調和した収益性の高い農林水産業の実現」をめざし、先端的な科学技術をはじめとする幅広い新技術の開発と実用化に関する研究や、地域の課題に対応した研究を進めている県農林水産総合技術センターの各試験研究機関を紹介します。

果樹園芸試験場

カンキツ類（本場）やカキ、モモ等落葉果樹（紀北分場）の新品種育成、栽培技術、土壌管理技術、病害虫防除法、果実の流通利用技術、果樹栽培における軽労働化対策などの試験研究を行っています。

本　場　〒643-0022　吉備町奥751-1
☎0737(52)4320　FAX　0737(53)2037
紀北分場　〒649-6531　粉河町粉河3336
☎0736(73)2274　FAX　0736(73)4690

暖地園芸センター

花き、ウメなどの栽培技術の開発、バイオテクノロジーを利用した優良品種の育成などの試験研究を行っています。

〒644-0024
御坊市塩屋町南塩屋724
☎0738(23)4005
FAX　0738(22)6903

クリーンベンチでの無菌操作
バイオテクノロジー技術を導入し、野菜・花などの優良品種を育成します。

特許申請中！

カキ「刀根早生」ハウス栽培果実をポリ包装し軟化を抑制 紀北分場が技術開発

カキ「刀根早生」のハウス栽培は県全体で約250トン出荷されており県の特産品としての位置を確立しようとしています。しかし、収穫した果実は脱渋処理後の日持ち性が低く、流通過程での軟化発生が大きな問題となっています。軟化の発生は年や収穫時期、園地により様々ですが、多い場合は30%にも達することもあり、一日も早い問題解決を栽培農家は望んでいました。

紀北分場ではこのため、様々な研究を行ってきましたが、脱渋時の果実の水分減少率と軟化の関係に着目し、試験を実施したところ、有孔ポリエチレンフィルムで包装することで軟化を抑制できることがわかりました。

この技術は、露地「刀根早生」の軟化対策にも適用できるものと見込まれています。

右下／全期間個装（脱渋時+保存時）
左下／全期間包装（脱渋時+保存時）
右上／脱渋時のみ包装
左上／無包装
（1果単位）

有孔ポリ袋による脱渋後9日目の軟化抑制状況
ポリ包装による効果がはっきりとわかります。

農業試験場

水稲、野菜などの品種選定、栽培技術、病害防虫防除法、土壌管理技術、流通・貯蔵技術、農業の経営改善などの試験研究を行っています。

〒640-0423　貴志川町高尾160
☎0736(64)2300　FAX　0736(65)2016

シシトウガラシの養液栽培技術
省力化や生産性の向上を可能にします。

畜産試験場

バイオテクノロジーを活用した牛の受精卵移植技術、牛や豚の低コスト飼養管理技術などの試験研究や優良家畜の配布などを行っています。

〒649-3141　すさみ町見老津1
☎0739(55)2430　FAX　0739(55)4020

受精卵移植によりホルスタイン種から生まれた黒毛和種の子牛

養鶏試験場

ニワトリの飼養管理技術、品種改良・増殖、疾病予防、環境保全のための鶏糞処理技術などの試験研究や飼料の成分分析検査などを行っています。

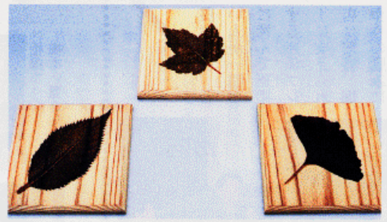
〒644-1111　中津村船津1090-1
☎0738(54)0144　FAX　0738(54)0966

紀州鶏
食味の良い鶏と成長の早い鶏を交配してできた高品質地鶏です。

林業センター

森林環境の調査、林木の組織培養、木材加工、精英樹の選抜育種などの試験研究や林業経営の近代化と技術の向上のための研修を行っています。

センター　〒649-2103　上富田町生馬1504-1
☎0739(47)2468　FAX 0739(47)4116
林木育種場　〒646-1421　中辺路町栗栖川291
☎0739(64)0133



スギ圧縮材処理技術を応用した化粧木材（特許取得）

山村産業試験場

センリョウ、ユズ、導入ナッツ類など山村地域における特産物の生産技術や未利用資源の開発などの試験研究を行っています。

〒649-4222　古座川町直見212
☎0735(78)0005　FAX　0735(78)0150

ユズの早期成園化
苗を植えてからたくさん果実が収穫できるまでの期間を短くします。

水産試験場

水産資源の持続的な利用管理技術、漁場の環境保全などの試験研究や漁海況の調査と情報提供を行っています。

〒649-3503　西牟婁郡串本町串本1551-1
☎0735(62)0940　FAX　0735(62)3515

水産増殖試験場

魚介類（クエ、オニオコゼ、サザエ、アカウニ）の種苗生産技術や藻類の組織培養などの試験研究及び魚病の診断・指導などを行っています。

〒646-0053　田辺市元町1507
☎0739(22)0506　FAX　0739(24)3608

内水面漁業センター

アユなどの内水面動植物の増殖に関する試験研究や技術指導、種苗生産や放流調査などを行っています。

〒649-6112　桃山町調月32-3
☎0736(66)0171　FAX　0736(66)2098

成長優良アユの作出試験
成長の早い良いものを選抜し、親魚として用いた子（一番上）は、無選抜の子（一番下）に比べ、約1.5倍早く成長します。

高速道路で農産物をスピード出荷

黒潮フルーツライン区域（南部川村、南部町、印南町）の整備に着手

農業用道路　約14キロメートル（全幅員7メートル）
区画整理　125ヘクタール
農地造成　30ヘクタール
工期　平成12～18年度（予定）

この地域は、ウメを中心とした県下有数の農業地帯で、温暖多雨という恵まれた気象条件のもと、近年はキヌサヤエンドウ、カスミソウ等の栽培が盛んな地域です。

しかし、地域内には国道42号以外に幹線道路がなく、農道の整備が強く求められていました。また、近畿自動車道の御坊以南への延伸に伴い、京阪神地区への果樹・野菜供給地としての性格がさらに強まることが予想されます。

これらに対応するため、日高地区広域農道に連絡する基幹農道の整備、農地造成と南部平野での区画整理による、ほ場内道路、用排水路の整備を実施します。

満開の梅林

キヌサヤエンドウ

カスミソウ

和歌山の魅力再発見 ❶

This is 和歌山ブランド

和歌山県産品の中には、生産量日本一を誇る物、全国に先がけて生産された物、本県の地域性を活かした独創的な物など、様々な「和歌山ブランド」があります。

県民の皆さんに「和歌山ブランド」を知っていただき、ふるさと、和歌山の魅力を再発見していただければと思います。

千年の歴史が育む 熊野牛

熊野牛の始まりは、熊野詣が隆盛を誇った平安時代中期、参詣者の荷物を運んできた牛が、この地方に残されたものが始まりといわれており、後に品種改良のため但馬牛系統の血統を取り入れ、和歌山特産の高級和牛「熊野牛」が誕生しました。

現在は西・東牟婁地域を中心に飼育されており、恵まれた気候風土の中で育った牛の肉質はきめ細かく柔らかで、甘みと風味に優れています。紀南地方の宿泊施設のほか、和歌山市内のレストランなどでも味わうことができます。

問合せ先　県庁畜産課
☎073（441）2925

ウメ生産量全国一を支える優良品種 南高梅

果樹王国和歌山県。なかでもウメの生産量は、全国でも群を抜き、毎年5割前後の市場シェアを誇ります。田辺市、南部川村、南部町などで栽培が盛んで、多くのウメが作られており、その70%を占めるのが「南高梅」。粒も大きく、肉厚で青梅にも梅干しにもなり、収穫期には緑色の果皮に赤色が鮮やかにあらわれます。「南高」の名は、品種の選定に関わった南部高校と「南高梅」のルーツ「高田梅」に由来しています。最近の健康食品ブームを背景に、国内外の産地間競争がますます激しくなっていますが、和歌山が誇る「南高梅」は代表的ブランドとして、その圧倒的な実力を広く認知されています。

問合せ先　県庁みかん園芸課　☎0
73（441）2902

三種類の竹を組み合わせた芸術品 ヘラ竿

「釣りはヘラブナに始まり、ヘラブナに終わる」といわれるヘラブナ釣りの醍醐味は、やはりヘラ竿がものをいいます。

高野山のふもとには、ヘラ竿にふさわしい高野竹が生えており、これを使ったヘラ竿の生産量は橋本市が全国の90%以上を占め、日本一を誇ります。

ヘラ竿は一種類の竹でできているように見えますが、実は竿の先から真竹・高野竹・矢竹という、それぞれ性質の違った竹を一本の竿に組み上げます。とくに、張りのある矢竹とバネのある高野竹をつないでいるところにヘラ竿の特徴があり、強度と粘りというヘラ竿独特の「調子」が出るのです。作業の一つひとつに職人芸が生かされ、自然の竹が、芸術品にまで高められていく工程を見ていると感動をおぼえます。しっかりと焼きの入った竿は、50年も60年も長持ちするそうです。

問合せ先　伊都振興局地域行政課
☎0736（33）4904

わかやまの農林水産業ホームページ開設中！

〈アドレス：http://www.wakayama.go.jp/waff.htm〉
和歌山の農林水産業に関する様々な情報を掲載しています。ご活用ください。

●主な内容
1.県内外の農林水産情報
（県総合計画、統計情報、国の動向、アメダス情報、リンク集）
2.経営関連情報（各種事業紹介、制度資金、新規就農支援）
3.イベント・地域PR情報
（産品直売所、観光農業、イベント紹介）
4.試験研究情報
［県農林水産総合技術センター］
（試験研究成果、研究計画、病害虫発生情報、各試験場概要等）
5.地域情報
［各振興局］（地域特産品、業務紹介、地域情報）

おしらせ INFORMATION

「県民の友」を掲載している和歌山県のインターネットホームページはhttp://www.wakayama.go.jp/

3						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

時…期日・時間　場…場所・会場　定…定員　対…対象・資格　費…費用　申…申込・応募方法　問…お問い合わせ　抽…希望者多数の場合抽選

募集

県立医大附属病院、紀北分院 助産婦・看護婦（士）

定 有資格者、取得見込者
申 3月17日までに履歴書（写真貼付）3通、卒業証明書、成績証明書、健康診断票（様式有り）、免許（写）を県立医大総務課へ郵送か持参
問 県立医大附属病院看護部長室☎073-447-2300

社会福祉法人県福祉事業団（障害児者施設）看護婦（士）

定 若干名
申 4月30日までに福祉事業団事務局総務課☎073(435)5234
問 申込先

根来山げんきの森倶楽部会員

里山整備などを行うボランティア
時 4月16日から毎月第3日曜日
場 根来山げんきの森（岩出町）
申 3月31日までに住所、氏名、電話番号を記入し、ハガキ、電話、FAX、Eメールで県庁森林整備課（〒640-8585 和歌山市小人町352番地☎073(432)5850、Eメールアドレスeb070001@office.wakayama.go.jp）
問 県庁森林整備課

エイジレス・ライフ実践者、社会参加活動事例

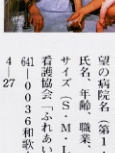
エイジレス・ライフ（年齢にとらわれず自らの責任と能力において生活していきたい生活を送る）を実践している高齢者、地域で社会参加を積極的に行っている高齢者グループを広く紹介していくために、これらの活動事例を募集
申 3月31日までに推薦する氏名・グループ名、活動内容がわかるものを市町村高齢者福祉担当課に提出
問 県庁長寿社会推進課、市町村高齢者福祉担当課

応急危険度判定講習会

時・場 ①3月15日＝西牟婁総合庁舎（田辺市）②3月16日＝県民文化会館（和歌山市）
対 ①級・二級・木造建築士 ②30人
申 県庁建築課
問 申込先

看護の日・看護週間行事

定 ①30人 ②50人
申 県立看護専門学校（那賀町）、県立高等看護学院（那賀町）、県立なぎ看護学校（新宮市）、県立紀北看護専門学校（和歌山市）、和歌山市医師会看護専門学校（和歌山市）、生長会病院、有田市立病院、済生会病院、紀北看護専門学校（和歌山市）



✓社会保険

問 県内の高校生
時・場 5月13日＝和歌山看護専門学校（和歌山市）、5月14日＝県立なぎ看護学校（新宮市）、5月27日＝和歌山赤十字看護専門学校（和歌山市）、和歌山労災看護専門学校（和歌山市）
対 県内の高校生
時・場 4月15日＝和歌山看護専門学校（和歌山市）、5月8日＝県立看護学校（那賀町）、5月14日＝県立なぎ看護学校（新宮市）、5月27日＝和歌山赤十字看護専門学校（和歌山市）、和歌山労災看護専門学校（和歌山市）
問 申込先

エンジョイスポーツクラブ（前期）

申 県立体育館のスクール＝3月22日までに住民票に記載先住所、氏名、希望スクール名、氏名、生年月日、年齢、住所、電話番号、学校名、学年を記入し、県教育委員会保健体育課
抽 県立武道館のスクール＝会場で直接受付☎073(444)6340
問 県教育委員会保健体育課

スクール名	定員	曜日	時間	参加対象	場所
ソフトテニスA	40	月	10:00～11:30	小学生	県立体育館
ソフトテニスB	40		10:00～11:30		
美容体操A	50		10:00～11:30		
エアロビクスA	40		13:00～14:30	原則として18歳以上	
卓球A	60		10:00～11:30	小学生	
卓球B	60		13:00～14:30		
卓球C	60		15:00～18:30		
卓球D	50		19:00～20:30		
少女新体操 初級	30	火	16:00～17:00		
*少女新体操 中級	30		17:00～18:00		
トリムダンス	40		10:00～11:30		
太極拳A	40		13:00～14:30		
バレーボールA	50		10:00～11:30		
バレーボールB	50		13:00～14:30		
バレーボールC	40	木	19:00～20:30		
ソフトバレーボール	40		19:00～20:30	原則として18歳以上	
エアロビクスB	40		10:00～11:30	小学生	
美容体操B	50		13:00～14:30		
バドミントンA	50		10:00～11:30		
バドミントンB	50		13:00～14:30		
バドミントンC	50		19:00～20:30		
ふれあいスポーツ	40	金	17:00～18:30	小学生から大人まで	
少年少女体操	40		17:00～18:00	原則として18歳以上	
美容体操C	50		10:00～11:30		
太極拳B	40		13:00～14:30		
柔道	30	月	17:00～18:00	小学生	県立武道館
剣道 初級	30	木	16:00～17:00	小・中学生	
剣道 練成	30		17:00～18:00		

*＊経験者に限る

スポーツ安全保険
この保険はスポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動、指導活動等を行う5人以上のアマチュアの団体やグループ（社会教育関係）を対象とします。
問 県教育委員会保健体育課

シリーズ「女性のこころとからだ」

講演「ココロとカラダの対話」坂口健太郎
時 3月30日14時～
場 和歌山ビッグ愛（和歌山市）
定 80人（先着順）
申 3月23日までに電話又はFAXで県女性センター☎073(435)5245、FAX073(435)5247
問 申込先

再就職希望女性の技術講習会

科目 ワープロとパソコンの初歩
時 5月9日＝6月6日の月～金
場 那賀町すこやかセンター
定 20人（初心者のみ）
申 4月10～12日に会場へ来所（ハガキ持参）
問 県女性センター☎073(435)5245

女性道路記念フォーラム

講演「わたならしく　あなたらしく　生きよう　2000年」吉武輝子
時 4月15日13:30分～
場 和歌山ビッグ愛（和歌山市）
定 180人
申 電話又はFAXで県女性センター☎073(435)5245、FAX073(435)5247
問 申込先

✓有田病院、5月14日＝社会保険紀南綜合病院、5月16日＝和歌山労災病院、5月17日＝公立那賀病院
申 4月7日までに往復ハガキに希望の病院名（第1・2希望）、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、服のサイズ（S・M・L）を記入し、県看護協会「ふれあい看護体験」係〒641－0036和歌山市西浜1011－27
問 申込先☎073(446)0605
※5月12日に和歌山城周辺でパレード、JR御坊駅前ほか7カ所で街頭キャンペーン

考えよう　知ろう　語ろう　北方領土

定期借地権付分譲住宅

団地名 岸宮サニータウン（貴志川町）
戸数 18戸（先着順）
（公社仕様住宅の場合）
譲渡額 2,088万円
住宅面積 115.32㎡
敷地面積 170.68㎡
地代 1万6千円（月額）
※10年経過後土地の買取可能
問 県住宅供給公社☎073(425)6885

一般分譲住宅

団地名 しもつ・夢タウン（下津町）
戸数 5戸（先着順）
住宅 公社選定住宅メーカーから選択
敷地面積 平均179.45㎡（54坪）
問 県住宅供給公社☎073(425)6885

同和連載　啓発冊子「閉ざされた時間から開かれた時間へ」

県同和委員会が新しい啓発冊子を作成しました。

この冊子は、毎年募集している同和人権啓発作文の入選作品の一部を活用し、また「心の窓」をテーマに写真を組み入れています。窓に映る様々な風景は心の反映でもあります。

どの作品も、生徒児童の考えたこと、学んだこと、感じたことなどを自分の問題としてしっかりと受け止め、差別の解消をめざし、人権を大切にする、真摯な気持ちにあふれたすばらしい作品ばかりです。子どもたちの言葉は、今、我々大人が見過ごしていること、忘れてしまっていること、知らないふりをしていること、考えなくてはならないことを語りかけてきます。

子どもたちは曇りない窓から、疑問を放ちます。
偏見を持っているのは誰？
差別するように教えているのは誰？
光あふれる窓を塞ぎむしているのは誰？

子どもたちの作品から構成されたこの冊子は、市町村、病院、理・美容店など多くの皆さんが利用する窓口等に配付しています。是非一度お読みください。

なお、県同和委員会、各地方・市町村同和委員会でも配布しています。

問合せ先
県同和委員会事務局
☎073(441)3905

春季全国火災予防運動

3月1～7日は春の全国火災予防運動期間です。これから空気が乾燥し火災が発生しやすい時季となります。火の元には十分気をつけましょう。
問　県庁消防防災課

守ろうよ　地球の緑を　火の手から

県山火事予防運動強化週間
3月1～7日

4

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

県庁・県教育委員会への郵便は　〒640-8585（県庁専用郵便番号、住所記入不要）○○○課あて
電話は　☎073(432)4111

ごあんない

きのくにベンチャーランドフォーラム

「新世紀の産業創造」をテーマに講演やパネルディスカッションなど

時 3月20日13時～

場 アドローム紀の国（和歌山市）

申 即（県中小企業振興公社総務課で整理券配布

問 申込先☎073(432)3412

シンポジウム「地域における難病者の介護について」

時 3月23日13時～

場 プラザホープ（和歌山市）

対 保健婦、看護婦、理学療法士、ホームヘルパー等

問 県庁健康対策課

警察官A受験セミナー

対 平成12年度警察官A採用試験受験希望者

時 4月30日13時30分～

場 ルミエール華月殿（和歌山市）

申 県警察本部警務課採用係☎073(423)0110

問 申込先

不動産無料相談会

不動産鑑定評価の日（4月1日）に不動産の評価、有効利用等の相談

時 4月1日9～16時

場 和歌山商工会議所（和歌山市）

問 県庁水・土地政策課

政治資金規制法の改正について

平成12年1月1日から、企業、労働組合、職員団体その他の団体（政治団体を除く）は、政党及び政治資金団体以外の者に対しては、政治活動に関する寄附をしてはならないことになり、これまで認められていた資金管理団体（政治家が一団体に限り指定できる団体）への寄附も禁止されることとなりました。

（企業、労働組合等の団体が政治団体に対して支払う党費、（会費も寄附として取り扱われます）

問 県選挙管理委員会☎073(441)3785

住宅金融公庫　返済相談窓口

住宅金融公庫融資を利用した方で、返済が困難な方に相談窓口を設置。一定の条件に該当する方には返済条件を変更します。

問 受託金融機関の主要店舗、住宅金融公庫大阪支店☎06(6281)9569（返済相談専用）

修学奨励金・就学支度資金（無利子）

対 高校や大学等に修学等の母子家庭などの兄弟・子

申 各県福祉事務所、市町村で申込書配布。3月24日までに市町村母子福祉担当課

問 各県福祉事務所、和歌山市在住者は和歌山市児童家庭課

確定申告は済みですか

所得税の申告と納税は3月15日まで、個人事業者の消費税・地方消費税の申告と納税は3月31日までです。

問 各税務署、税務相談室

特別地方消費税が廃止されます

ホテル・旅館、飲食店等で一定の金額を超える利用行為等にかかる特別地方消費税が3月31日をもって廃止。消費税・地方消費税（あわせて5%）は従来どおり課税されます。

問 県庁税務課

日独社会保障協定

日独両国の年金制度への一重加入の解消及び保険期間の通算を目的とした日独社会保障協定が2月1日に施行されました。

①**一重加入解消のための手続き**＝厚生年金保険や国民年金の被保険者がドイツで就労し、ドイツ年金制度への加入義務が生じる場合に、その就労期間が一時的（5年を目安）である場合には、その期間ドイツ年金制度への加入義務が免除されます。加入免除には、厚生年金保険等の制度の加入を証明する「適用証明書」が必要ですので、管轄の社会保険事務所で交付申請をしてください。

②**保険期間の通算による年金受給権の確保等**＝協定によって、相手国の年金制度加入期間を自国の年金制度加入期間とみなして年金の受給資格期間に算入したり、相手国の年金制度加入中の保険事故（傷病や死亡）は、自国の年金制度加入中の事故とみなされます。

問 県庁国民年金課、社会保険事務所、年金相談サービスセンター

地域改善対策進学奨学金

対 同和地区に住んでいる関係者の子どもで、経済的理由により、高等学校、大学などへの修学が困難な方

時 4月1日から

申 県教育委員会学校教育課

問 県教育委員会☎073(441)3663

飼い犬の登録と狂犬病予防注射について

次の事柄が法律で義務づけられています。

①犬を飼ったら必ず登録する（室内で飼う場合も同じ）

②年1回狂犬病予防注射を犬に接種する（接種は獣医師の指示に従う）

③引越した場合は必ず転居先の市町村に届出る

④飼い主も変わったり、犬が死亡した等の場合は市町村へ届出る。

※犬の登録は狂犬病予防注射に関する事務は、4月1日から市町村の事務となります。

問 県庁生活衛生課

定期借家制度施行

（平成12年3月1日）

定期借家契約では契約で定めた期間の満了により、更新されることなく確定的に借家契約が終了します。

平成12年3月1日以後に借家契約を締結する場合、家主と借家人の話し合いにより「従来型の借家契約」と「定期借家契約」のいずれかを選択できます。3月1日より前に締結した借家契約の効力については、従来通りです。

問 県庁住宅課、建築課

4月からかわります

古座保健所・東牟婁振興局健康福祉部が担当している「すさみ町」の福祉保健業務が、田辺保健所・西牟婁振興局健康福祉部に変わります。また、古座保健所は新宮保健所古座支所となり、古座町、古座川町及び串本町を担当しますが、担当業務に変更はありません。

問 県庁福祉保健総務課

県庁保険課、国民年金課、職業安定課、雇用保険課の事務が国直接の事務になり、下記のとおり国が設置する機関に移ります。（なお、一部県に残る事務もあります。）

●保険課及び国民年金課が担当している社会保険関係事務（国民健康保険関係を除く）

▼

和歌山社会保険事務局
くわしくは、県庁保険課、国民年金課

※なお、社会保険事務所も国の機関となりますが、所在地の変更はありません

●職業安定課及び雇用保険課が担当している雇用対策・雇用保険関係事務

▼

和歌山労働局
くわしくは、県庁職業安定課

高齢者の交通死亡事故続発

「歩行中の注意」
横断をはじめてからでも左右の確認を（夜は明るい色の服装や夜行反射材を身につけましょう）

「自転車のときの注意」
信号機のある交差点でも安全確認を

「車を運転するときの注意」
安全確認はしっかりと

取り組んでいます！行政改革

県では、行政改革の基本的考え方を示した「和歌山県行政改革大綱」を昨年1月に策定しました。現在、この大綱に基づき、鋭意、行政改革の推進に取り組んでいるところです。平成11年度に実施した主な取り組み状況等についてお知らせします。

問合せ先　県庁人事課

1　事務事業の見直し

事務事業全般について、行政関与の必要性、受益と負担の公平確保、行政効率、行政効果等に配慮し整理合理化に努めています。

○事務事業の見直し　185件
改善額771百万円

○県単独補助金の見直し　22件
改善額　65百万円

○公共事業のコストについて、10%の縮減を行うことを目標としています。

○財政運営プログラムを策定し、収支不均衡の解消に取り組んでいます。

2　民間活力の導入

民間に受皿のあるものは原則として委託するという考え方で外部委託を推進します。主な実施状況は下記のとおりです。

○特殊諸学校において、スクールバス運転業務を委託

○新設の養護学校において、給食調理業務を委託

3　県民サービスの向上

行政サービスの質の向上と処理時間の短縮などを通して、県民サービスの向上に努めます。

○国際交流センターの開館日を月～金曜日から火～土曜日に変更し、土曜日に利用できるようにしました。

○西牟婁及び東牟婁管内の大規模建築物の建築確認権限を西牟婁振興局（田辺市）に移譲し、建築確認事務に要する時間の短縮を図りました。

○海南市、海草郡内の道路の維持補修業務を海草振興局建設部（和歌山市）から海南工事事務所（海南市）に移管しました。

○夏季の一定期間、開館時間を近代美術館は20時までの3時間、わかやま館は20時45分までの3時間45分延長しました。

○県のインターネットホームページを活用して各種情報を提供しています。
ホームページのアドレスは
http://www.wakayama.go.jp/

4　権限の移譲

地方分権の時代を先取りし、住民に身近な行政は住民に身近な機関が行うことを基本に、振興局及び市町村への権限移譲を推進します。

○土木部の工事検査権限を各振興局に移譲しました。

わかやま北南NEWS

2月3～5日、白浜町で開催されたWTO（世界観光機関）和歌山会議

日本一をPR
有田みかんの大壁画完成

400年以上の歴史と伝統を誇る有田みかんを、通行く人や鉄道利用者にPRしようと、有田川保田大橋北側の斜面に大壁画が完成しました。

これまでにも同様の壁画が描かれていましたが、老朽化したことを一部内容に変更が生じたため、県の「輝けわかやま・21世紀ふるさとづくり事業」を活用して、描き直されました。

壁画のすぐ脇をJRきのくに線が通り、車窓から、にっこり笑った可愛らしい温州みかん「あり太君」を見ることができます。

（有田市）

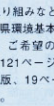
語ろう日本の心と梅の心
全国梅産地サミット開催

全国から梅生産者など約550人が一堂に会し、初の「全国梅産地サミット2000」が2月6日から2日間、「日本一の梅の里」として知られる南部川村で開催されました。

首長会議（サミット）では、全国の11市町村長が参加し、各地の栽培・品種の現状や課題について活発な意見交換が行われ、国産梅の消費拡大の推進など5項目のサミット宣言を採択しました。また、全国から募集した梅料理コンテストの表彰式や生産者の交流会などが行われました。

（南部川村）

「県環境基本計画」ができました



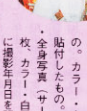
県の今後の環境に対する考え方や長期的目標、また、その実現に向けた行政施策や県民の皆さんでの取り組みなどをまとめた「和歌山県環境基本計画」ができました。ご希望の方に、本編（A4版、121ページ）及び概要版（A4版、19ページ）をお渡しします。

郵送希望の方は、住所、氏名を記入し、切手310円分を同封し、県庁自然環境課へ。

問合せ 県庁自然環境課☎073（441）2674

ふれ愛紀州路キャンペーンスタッフ募集

平成12年5月から平成13年4月までの1年間、県内外で和歌山県の観光について、観光イベント等のお手伝いをしていただく明朗で行動的な方を募集します。



応募資格

・県内在住又は出身の満18歳以上（平成12年3月31日現在）の高校生を除く方で、協調性に富む、明朗で健康的な方。

・当連盟が随時指定する日に、業務に従事していただける方。（業務が数日間に及ぶ場合有）

採用人員 5人

賞品 任期満了後に15万円相当の旅行券

応募方法

①提出書類

・履歴書（1通）市販の用紙で所定の事項を記入し、写真（3カ月以内に撮影のもの。カラー・白黒不問）を貼付したもの。

・全身写真（サービスサイズ1枚、カラー・白黒不問）で裏面に撮影年月日を記入したもの。

②応募

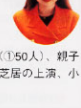
3月31日までに(社)県観光連盟キャンペーンスタッフ係〒640－8585県庁観光課内へ郵送又は持参

審査方法 面接審査4月中旬

実施予定（1次、2次審査有）

問合せ (社)県観光連盟キャンペーンスタッフ係☎073(422)4631

[すこやか・あんしん] 子育てフェスタ



日時 3月26日(日) 10:00～16:00

場所 和歌山ビッグホエール、プラザホープ（和歌山市）

●ステージイベント

ハイヒール・モモコの子育てトークショー（14:00～）、ハローキティのキャラクターショーなど

●体験イベント

乳幼児の応急手当体験講習会 11:00～（①50人）、親子フィットネス教室、手作り遊び教室、紙芝居の上演、小動物とのふれあいコーナーなど

●展示・相談コーナー

●講演会

「心豊かな子育て」大日向雅美 11:30～（②300人）

子どもの事故予防講演会 13:00～（③300人）

さい帽血に関する講演会 14:00～（④300人）

※講演会参加者の幼児（2歳から就学前）は保育ルーム利用可。事前予約必要。

●その他

遊具コーナー、フリーマーケット、お楽しみ抽選会など

申込 ①～④については往復ハガキに住所、氏名、電話番号、参加希望行事名を記入し、3月15日までに①～③は県庁健康対策課、④は県庁薬務課（〒640－8585県庁専用郵便番号）

問合せ 県庁健康対策課☎073(441)2642

催し

県民文化会館 ☎073(436)1331

北野タダオ&アロージャズオーケストラ 3月23日

紀南文化会館 ☎0739(25)3033

松本安太郎講演会 3月26日

お気軽にどうぞ

交通事故相談 ☎073(441)2359

【常設相談】月～金曜日（東牟婁振興局は水曜日を除く）

場所 県庁交通事故相談所、東牟婁振興局

【弁護士による相談】●県庁交通事故相談所 4月3日 受付 13～14時 ●東牟婁振興局 3月17日、4月7日 受付 正午まで

【巡回相談】●伊都振興局 3月22日 ●西牟婁振興局 3月8日 受付 11～15時

県民相談 ☎073(441)2356

【常設相談】月～金曜日 場所 県庁県民相談室

【弁護士による相談】3月24日、4月14日

場所 県庁県民相談室 受付 9～11時

【移動相談】印南町文化館（印南町）3月17日、古和田会館（打田町）4月11日 受付 13～15時

高齢者相談 ☎073(435)5212

場所 県高齢者総合相談センター（和歌山ビッグ愛7階）

【常設相談】月～金曜日

【弁護士による相談】3月17日 受付 12～13時

いつでも献血！

和歌山駅前献血ルームでは4月から定休日がなくなり、いつでも献血にご協力いただけます。

献血受付時間 献血マスコット「愛ちゃん」

成分献血＝10:00～12:00、14:00～17:00

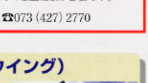
全血献血＝10:00～13:00、14:00～17:45

	成分献血		全血献血	
	血漿成分献血	血小板献血	200mℓ献血	400mℓ献血
年齢	18～69歳	18～54歳	16～69歳	18～69歳
体重	女性 40kg以上 男性 45kg以上		男女とも 50kg以上	

※65～69歳の方は、60～64歳の間での献血経験が必要です。

問合せ 和歌山駅前献血ルーム☎073（427）2770

広報誌「W—ing」（ウイング）第11号ができました



障害がある人もない人も同じように参加できる社会をめざし、各方面で活躍・チャレンジしている人々を紹介します。

ご希望の方に県庁広報広聴課、各振興局県民行政部総務課でお渡しします。郵送希望の方は、住所、氏名を記入し、切手200円分を同封し、県庁広報広聴課へ。

問合せ 県庁広報広聴課☎073（441）2032

角膜・腎臓移植にご協力を

県内には視覚障害に悩む人や慢性腎不全で長年透析を受けている人が多数います。これらの人々が角膜移植や腎臓移植で社会復帰ができるように、愛と健康の贈り物として死後の献腎、献眼登録をお願いします。未登録の方でも心臓死での角膜・腎臓提供は遺族の承諾だけで提供できます。

問合せ (財)県角膜・腎臓移植推進協会☎073(424)7130

環境保全キャラクターの愛称決定！

昨年11月21日に開催した「エコフェスタわかやま'21」で募集したキャラクターの愛称がエコリンに決定しました。

たくさんのご応募ありがとうございました。

皆さん、可愛がってね